

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	九州国際大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	福岡
大学全体の総収容定員	2,000 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	法学部（法律学科）、現代ビジネス学部（地域経済学科、国際社会学科）		
事業計画名	九州国際大学 情報工学部（仮称）設置計画		

2. 事業概要

北九州市が策定する市の成長戦略では、それを支える都市（地域）活性化のしくみ構築が急務であるところ、その構築にあたっては、市が抱える環境問題、大規模災害への対応、少子化・高齢化への対応等も必要であり、効率的な都市整備、生活拠点の魅力向上のため、行政、民間を問わず、そうしたしくみ構築に主体的に取り組む人材の育成が望まれている。そこで本学は、北九州市の将来の発展のため、都市計画やまちづくりに関するビッグデータを含む様々なデータや情報を収集し、各種の分析を通じて都市（地域）の活性化に貢献できるDX人材の育成に取り組むものである。
カリキュラムとしては、低年次に情報工学を中心とした理系科目やプログラミング等の実践力を養う科目、情報機器のハードウェアを理解する科目、そして地域社会や企業の問題を理解するための社会科学系の科目を配置するとともに、3年次以降には少人数ゼミを配置し、デジタル技術を課題解決へと応用する実践力を養成する予定である。
また、北九州市内の情報工学的な学部学科をもつ大学や「まちづくり」に関して産学連携を進める機関等との連携、またすでに連携協定を結んでいる都市工学科、情報工学科等をもつ海外大学の協力を通じて教育内容の充実をはかるとともに、企業でエンジニアとしての経験を有する教員や、地域社会における人流・物流・経済に関する課題の解決に貢献してきた実績のある教員も任用して実務教育を展開する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	情報工学部（仮称）					
設置等組織の学位分野	工学関係	経済学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	福岡県北九州市八幡東区					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	0 名					

事業計画名 九州国際大学 情報工学部(仮称)設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	情報工学部(仮称)	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	福岡県北九州市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	0名

北九州未来戦略人材の養成
「稼げるまち北九州」に貢献するDX人材養成

都市計画やまちづくりに関するビックデータを含む様々なデータや情報を収集し、
各種の分析等を通じて都市（地域）の活性化に貢献するDX人材を養成

＜多様な入学者の確保＞

- ➡ 生成AIを活用する際のプロンプトを考える能力評価入学試験の検討・実施。
- ➡ 生成AI等を活用したワークショップの実施。また、入学者選抜に女子選抜枠を設け、情報工学分野を学ぶ女子学生を開拓。
- ➡ 付属高校を中心にDX活用人材教育に関するイベント連携を強化し情報工学分野の進学意識を醸成。

情報工学ならではの入学選抜実施

女子生徒の理工系職業観を醸成

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

企業・自治体等において都市のDX化をけん引する人材が求められているが、これらデジタル技術を持った人材は不足。産業界のニーズに応えるため、情報工学の地域社会への応用を軸とする情報工学部（仮称）を設置する。

また、情報工学分野への人材開拓を目的として産学官民の各所との連携を通じて女子生徒の理系進路選択にむけた活動を展開する。

＜連携を通じた教育体制の整備＞

- ➡ 教育課程等連携協議会の設置。
- ➡ 都市のDX化をけん引する人材を必要とする企業等との事前協議を実施し、教育課程等に反映。

協議会設置

社会ニーズの反映

九州国際大学 情報工学部（仮称）

北九州未来戦略人材養成

産業界

自治体

地域住民

＜教育内容・育成する人材像＞

- ➡ 国・自治体が保有するビックデータを収集分析し、社会システムのリデザインやビジネスなどに活用。
- ➡ 都市（地域）の活性化に貢献できるDX人材（北九州未来戦略人材）を育成。
- ➡ 低年次に、情報工学分野科目、プログラミング等の実践力を養う科目、情報機器のハードウェアを理解する科目、地域社会や企業の問題を理解するための社会科学系の科目を配置。
- ➡ 3年次以降は少人数ゼミを配置し、デジタル技術を課題解決へと応用して実践力を養成するPBL科目を配置。
- ➡ 企業でエンジニアとしての経験を有する教員や地域社会における人流・物流・経済に関する課題の解決に貢献してきた実績のある教員を任用して実務教育を展開。

DX人材養成

カリキュラムの体系化

PBL推進

実務家教員

＜社会や地域のニーズ・課題＞

- ➡ デジタル化の急速な進展
- ➡ 少子高齢化・人口減少・産業構造の変化
- ➡ IT、建設、製造、介護などの分野の人材不足
- ➡ 都市部と地方部の経済や住民サービスの格差拡大
- ➡ インフラや交通システムの維持コスト増大
- ➡ ビジネス機会の減少
- ➡ 新産業創出・企業誘致

社会動向、特に地元地域課題に焦点

北九州市産業未来戦略に寄り添う改革

▼北九州市産業未来戦略とは・・・
経済社会環境の変化に対応するとともに北九州市が持つポテンシャルを開花させることにより「稼げるまち」の実現を目指す新たな産業振興戦略。